

各部の名称

装備の使いかた



Fit

助手席回転シート車

オーナーズマニュアル

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

△ 危険

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至るもの

△ 警告

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

△ 注意

指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

お車が故障や破損することを防ぐためのアドバイスや、環境への配慮のために守っていただきたいこと。



目次

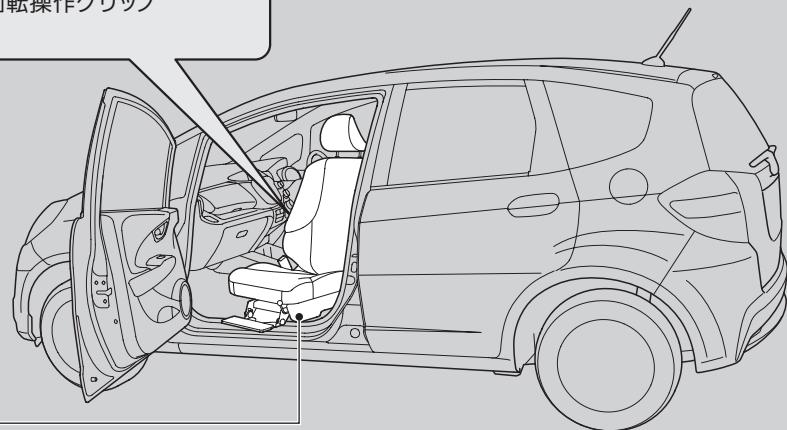
各部の名称.....	2
装備の使いかた	
助手席回転シートの動かしかた	3
シートへの乗り降り	5

各部の名称

各部の名称



助手席回転シート



助手席回転シートの動かしかた

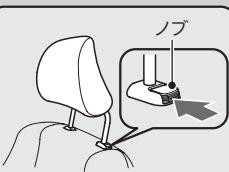
- 回転操作**
グリップを矢印の方向に倒して、シートを回転させる



- フットプレート**
前に倒して使用する



- ヘッドレストの調節**
・高くするときは、引き上げる
・低くするときは、ノブを押しながら下げる



- 背もたれの角度調節**
レバーを引き上げながら調節



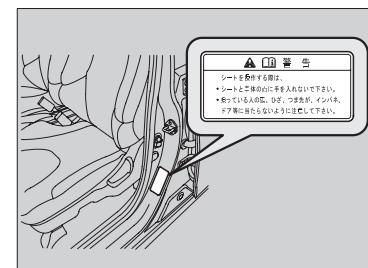
助手席回転シートの動かしかた

⚠️ 警告

助手席回転の操作時は、下記のこととを守る。

シートの操作を誤ると、重大な傷害をうけるおそれがあります。

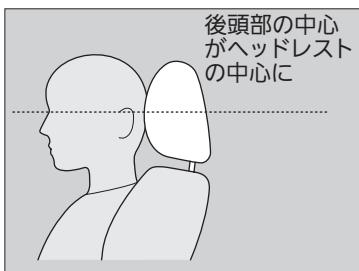
- グローブボックスが閉じていること、助手席サンバイザーが格納されていることを確認する。
- 回転操作は介助する人が行い、手、足、頭などをはさんだりぶつけたりしないように十分注意する。
- お子さまには操作させない。



- シートを回転した状態で、車の移動はない。

回転シートには、チャイルドシートを取り付けてください。

助手席回転シートヘッドレストの調節



後頭部の中心が、ヘッドレストの中心に来る
ようにヘッドレストの高さを調節します。

高くするとき：ヘッドレストを引き上げる
低くするとき：ノブを押しながら下げる

助手席回転シートヘッドレストの調節

警告

ヘッドレストは必ず正しい位置に調節する。
ヘッドレストの高さが適切でないと、ヘッ
ドレストの効果が低くなり、衝突したとき
に重大な傷害を受けるおそれがあります。

ヘッドレストを外した状態で走行しない。
衝突したときに重大な傷害を受けるおそれ
があります。

シートへの乗り降り

セレクトレバーが[P]のときに行えます。

パーキングブレーキをかけ、エンジンを止め、助手席ドアをいっぱいに開けてから、シートに付いている回転操作グリップで操作します。

平坦な場所で周囲の安全を確認して行ってください。

■ シートへの乗り降り

△ 注意

介助される人が背もたれの角度を調節しているときは、ドアを閉めない。

手をはさんでけがをするおそれがあります。

リヤシートに人が乗車しているときは、リヤシートの人のつま先や手などをはさまないように十分注意する。

シートを回転させた状態でドアを閉めると、ドアがシートにぶつかり故障や破損の原因になります。

背もたれが倒れすぎていると、運転席と干渉してシートの回転ができなくなります。

シートを回転させた後は、シートをゆすって確実に固定されていることを確認してください。

アドバイス

助手席回転シートに乗車可能な体重は100kgまでです。

これを超えての回転操作は、故障の原因となります。

フットプレートに体重をかけたり、ステップのかわりにしないでください。

フットプレートが破損するおそれがあります。

乗りかた

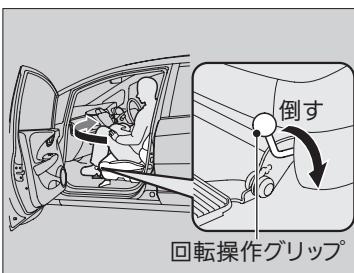


- シートが回転できるように、背もたれの角度を調節する。

- 回転操作グリップを矢印の方向に倒す。
► 回転し始めたら、倒していたグリップを元の位置に戻し、シートがロックする位置まで回転させてください。



- シートにすわり、フットプレートを前に倒して足を乗せる。

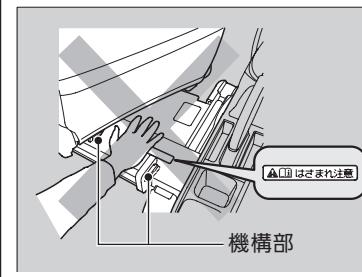
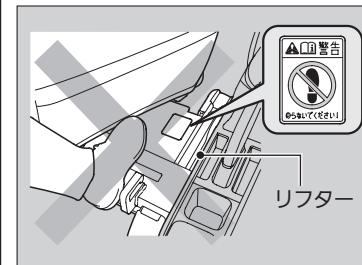


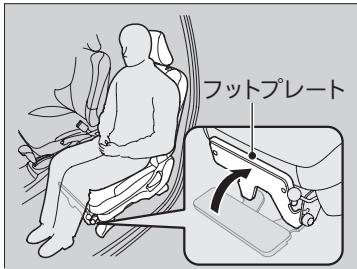
- 回転操作グリップを矢印の方向に倒す。
► 回転し始めたら、倒していたグリップを元の位置に戻し、シートがロックする位置まで回転させてください。

シートへの乗り降り

⚠️ 警告

リフター部に乗ったりものを置いたりしない。
シート作動時に、機構部に近づかない。
はさまれたり、巻き込まれたりするおそれがあります。





5. フットプレートから足を降ろし、フットプレートを折りたたむ。
6. シートベルトを着用する。

■ 降りかた



1. シートベルトが外してあることを確認する。
▶ 背もたれの角度を回転できるように調節します。
2. フットプレートを前に倒して足を乗せる。

» 乗りかた

⚠ 注意

シートが走行位置(格納位置)に戻らないときは、このシートを使用しない。
ブレーキをかけたときなどにシートが動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

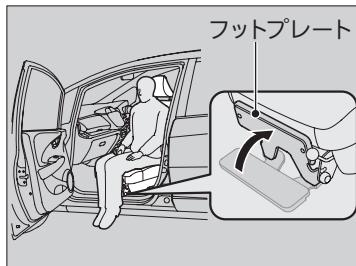
フットプレートに足を乗せてシートを回転させるときに、足が車体にぶつからない位置に乗せてください。

アドバイス

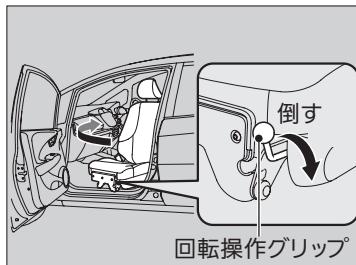
走行中はフットプレートに足を乗せない。
必要以上の体重がかかり、フットプレートが破損するおそれがあります。



3. 回転操作グリップを矢印の方向に倒す。
- ▶ 回転し始めたら、倒していたグリップを元の位置に戻し、シートがロックする位置まで回転させます。



4. フットプレートから足を降ろし、フットプレートを折りたたむ。
5. シートから降りる。



6. 回転操作グリップを矢印の方向に倒す。
- ▶ 回転し始めたら、倒していたグリップを元の位置に戻し、シートがロックする位置まで回転させます。

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda 販売店にお気軽にご相談ください。
下記アドレスより最新の Honda 販売店を検索することができます。

Honda ホームページ <http://www.honda.co.jp/>
(Honda ホームページにある検索ボックスに『販売店』と入力してください)

携帯電話からは、携帯電話用 Honda ホームページをご覧ください。
<http://dream.honda.co.jp/dealerlocator/>

※：QR コード読み取り機能付きの携帯電話をお持ちの場合は、右の QR コードをご利用ください。
ご利用にあたっては、お持ちの携帯電話取扱説明書をご確認ください。
QR コードは(株)デンソーウエーブの登録商標です。



お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センター
でもお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

フリーダイヤル

0120-112010

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00
〒351-0188 埼玉県和光市本町8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関するお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、
ご相談ください。

- ① 車検証記載事項：車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日
- ② 車種名、タイプ名、走行距離 ③ ご購入年月日 ④ 販売店名



EN

HONDA

The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、Honda 販売店で点検整備を受けてください。

最新の Honda 販売店情報は、携帯電話からも検索できます。
(検索方法は巻末をご覧ください)

Honda ホーム
ページにある
検索ボックス
に入力してく
ださい。

<http://www.honda.co.jp/manual/>

クルマ、およびインターナビシステム取扱説明書の最新情報
をお伝えしています。

30TFOR10
00X30-TFO-R100

④⑥ 200.2010.09.B
©2010 本田技研工業株式会社

助手席回転シート車

J